# 第Ⅲ部　政府関係者等との討論　資料

2012.11.12

## 登壇者プロフィール

**中川　正春（衆議院議員、前内閣府特命担当大臣）**

1973 年米国ジョージタウン大学国際関係学科卒業後、国際交流基金に入職。1983 年三重県議会議員初当選。以降三期 12 年務める。1996 年に衆議院議員初当選。民主党次の内閣財務大臣として 2009 年 8 月の選挙におけるマニフェスト作成に尽力。09 年 9 月、文部科学副大臣に就任。11 年 9 月、文部科学大臣に就任。12 年 1 月、民主党行政改革調査会会長を経て、12 年 2 月、内閣府特命担当大臣(防災、「新しい公共」、少子化対策、男女共同参画、共生社会政策)に就任。現在、民主党災害対策調査会長、民主党財務委員長。

**井上　洋（一般社団法人日本経済団体連合会社会広報本部長）**

1980 年 3 月、早稲田大学商学部卒業、同年 4 月、社団法人 経済団体連合会事務局入局。2004 年 4 月より日本経済団体連合会総務本部・秘書グループ長（奥田碩元会長秘書）、2006 年 6 月より産業第一本部長、2009 年 4 月より社会広報本部長（現職）。経団連では、外国人受け入れ問題に係る諸課題、移民政策、教育政策などの提言とりまとめを担当。現在、政府の文化審議会臨時委員（日本語教育小委員会所属）。

**出石　直（NHK 解説主幹）**

1982 年慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、NHKに記者として入局。報道局社会部記者、神戸放送局ニュースデスク、報道局国際部デスク、大阪放送局報道部担当部長（取材統括）、報道局国際部担当部長（取材統括）を経て、2007 年から 2009 年までソウル支局長。解説委員を経て現職。共著に「神戸　心の復興」（NHK出版）、「ウォルフレンを読む」（窓社）など。この間、1994 年から 95 年までプリンストン大学ウッドローウィルソン大学院フェロー、2012 年イースト・ウェストセンター（ホノルル）フェロー。2005 年放送文化基金賞。

**鈴木　康友（浜松市長）**

1957 年静岡県浜松市生まれ。1980 年慶應義塾大学法学部を卒業後、松下政経塾に入塾（第1期生）し 1985 年に同塾卒塾。ステラプランニング代表取締役を経て、2000 年 6 月に衆議院議員に初当選（2 期）。この間、経済産業委員会理事等を歴任。2007 年 4 月浜松市長に就任（現在 2 期目）し、2008 年マニフェスト大賞受賞。現在、三遠南信地域（愛知県東三河地域、静岡県遠州地域、長野県南信州地域）連携ビジョン推進会議（SENA）会長。2011 年 12 月から指定都市市長会副会長。

**牧野　光朗（飯田市長）**

1961 年生まれ、飯田市出身。早稲田大学政治経済学部卒業後、日本開発銀行（現日本政策投資銀行）入行。同フランクフルト首席駐在員、同大分事務所長を経て退職。2004 年 10 月に飯田市長に就任。3 期目。現在、環境モデル都市として「『おひさま』と『もり』のエネルギーが育む低炭素な環境文化都市の創造」に取り組んでいる。また、全国に先駆けた定住自立圏構築の取組を通して、一旦は地域を離れた若い人たちが再び戻り、安心して子育てができる地域にするための「人材のサイクル構築」による飯田のダイナミズム創造に力を注ぐ。

**コーディネーター**

**山脇　啓造（明治大学教授、オックスフォード大学客員研究員）**

東京大学法学部卒業、コロンビア大学国際関係・公共政策大学院修了。専門は移民政策・多文化共生論。総務省、法務省、文部科学省、外務省、国土交通省の外国人施策関連委員を歴任。また、愛知県多文化共生推進プラン検討会議座長、宮城県多文化共生推進条例策定懇話会座長、東京都地域国際化推進検討委員会委員長等、地方自治体の外国人施策関連委員も歴任。主著に『多文化共生の学校づくりー横浜市立いちょう小学校の挑戦』(共編、明石書店)等。